

敬老パス制度に関する市民アンケートの結果

<目 次>

	頁
1 調査の概要	1
2 回収状況	1
3 回答者の属性	1
4 主な結果	3

(別添)

敬老パス制度に関する市民アンケート依頼文

敬老パス制度に関する市民アンケート調査票

平成 30 年 12 月

健康福祉局

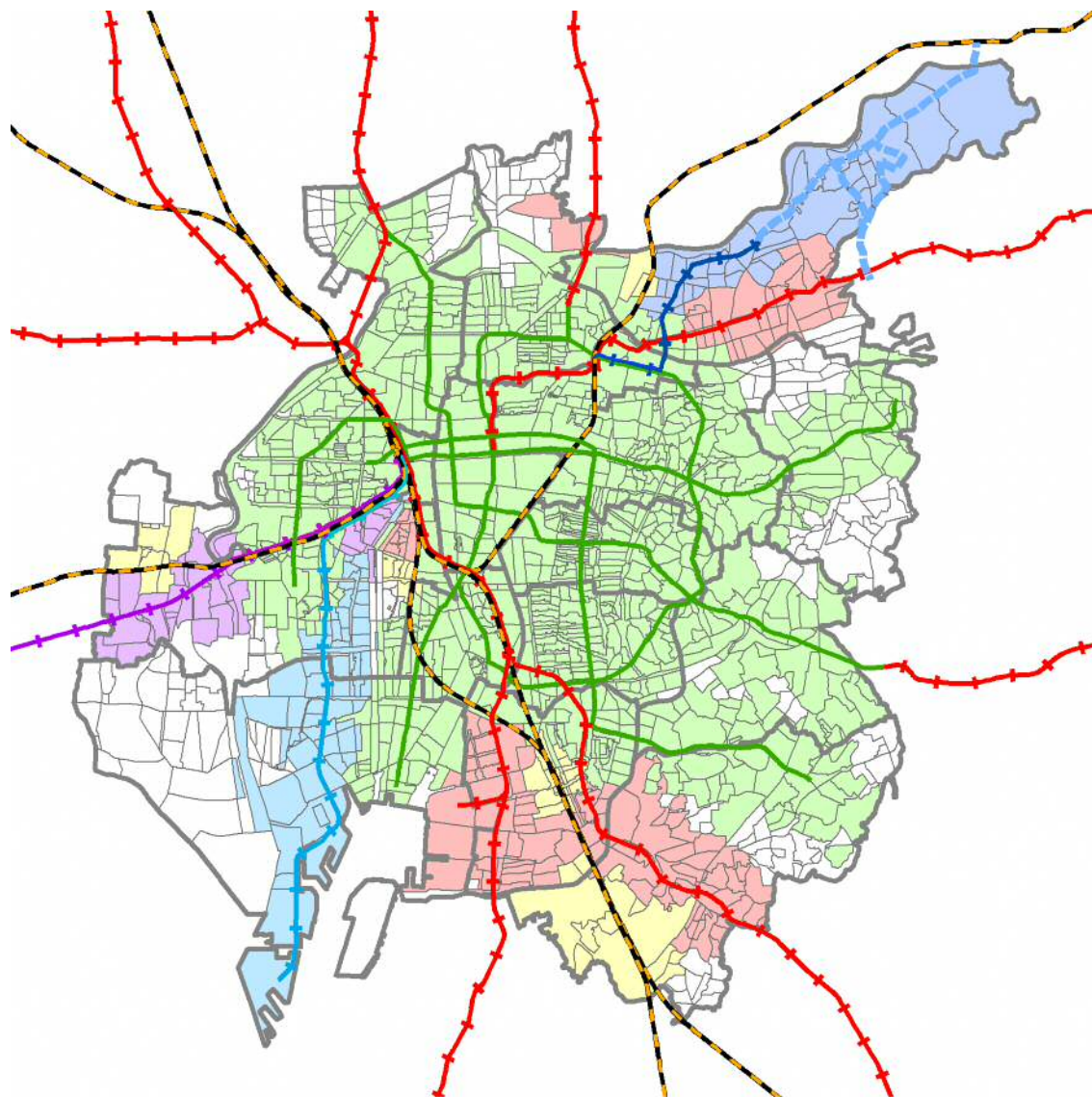
区 分	内 容
目 的	市民に対してＩＣカードの乗車実績データに基づく敬老パスの利用状況を示し、個人ごとや地域ごとの利用状況などについて、意見を聴取するもの。
対 象 者	市内在住の１８歳以上の方 ３，０００人（無作為抽出）
調 査 方 法	郵送によるアンケート調査
調 査 期 間	平成３０年１０月３日～１０月１７日

区 分	送付数	回収数	回収率
内 容	3, 0 0 0人	1, 6 9 7人	5 6 . 6 %

区 分	内 容
年 齢	18～64 歳 9 8 1 人 (57.8%) 不明 7 8 人 (4.6%) 65 歳以上 6 3 8 人 (37.6%) 計 1, 6 9 7 人 (100.0%)
敬 老 パ ス の 交 付 状 況 (6 5 歳 以 上)	交付 4 4 8 人 (70.2%) 不明 9 人 (1.4%) 未交付 1 8 1 人 (28.4%) 計 6 3 8 人 (100.0%)
敬 老 パ ス の 利 用 状 況 (交 付 者)	(交付を受けている人の1週間あたりの利用回数) 0～2 回 1 2 7 人 (28.3%) 9 回以上 5 3 人 (11.8%) 3～8 回 1 4 0 人 (31.3%) 不明 1 2 8 人 (28.6%) 計 4 4 8 人 (100.0%)
居 住 地 域 (郵便番号別)	地下鉄全線、ゆとりーとライン、 あおなみ線の沿線地域 1, 2 0 0 人 (70.7%) 名鉄全線の沿線地域 1 6 3 人 (9.6%) 近鉄の沿線地域 2 9 人 (1.7%) J R 全線の沿線地域 5 4 人 (3.2%) その他の地域 2 2 2 人 (13.1%) 不明 2 9 人 (1.7%) 計 1, 6 9 7 人 (100.0%)

(各路線の沿線地域)

駅から1キロメートル圏内と重なる郵便番号地域を、その駅の属する路線に区分した。



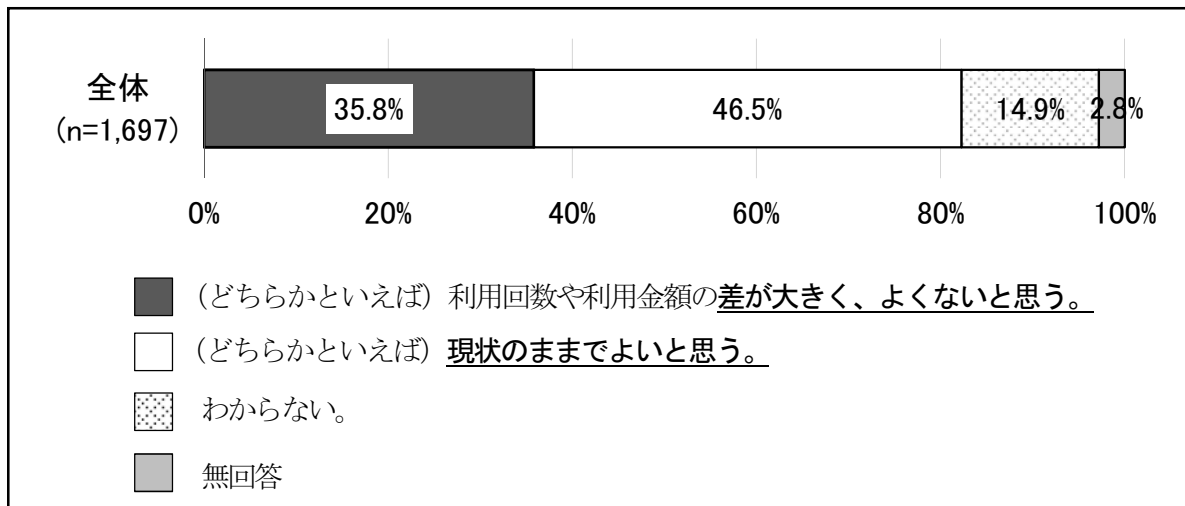
4 主な結果

(1) 個人ごとの利用回数や利用金額に差があることについてどう思うか

ア 全体

「現状のままでよいと思う。」と回答した人は約5割である。

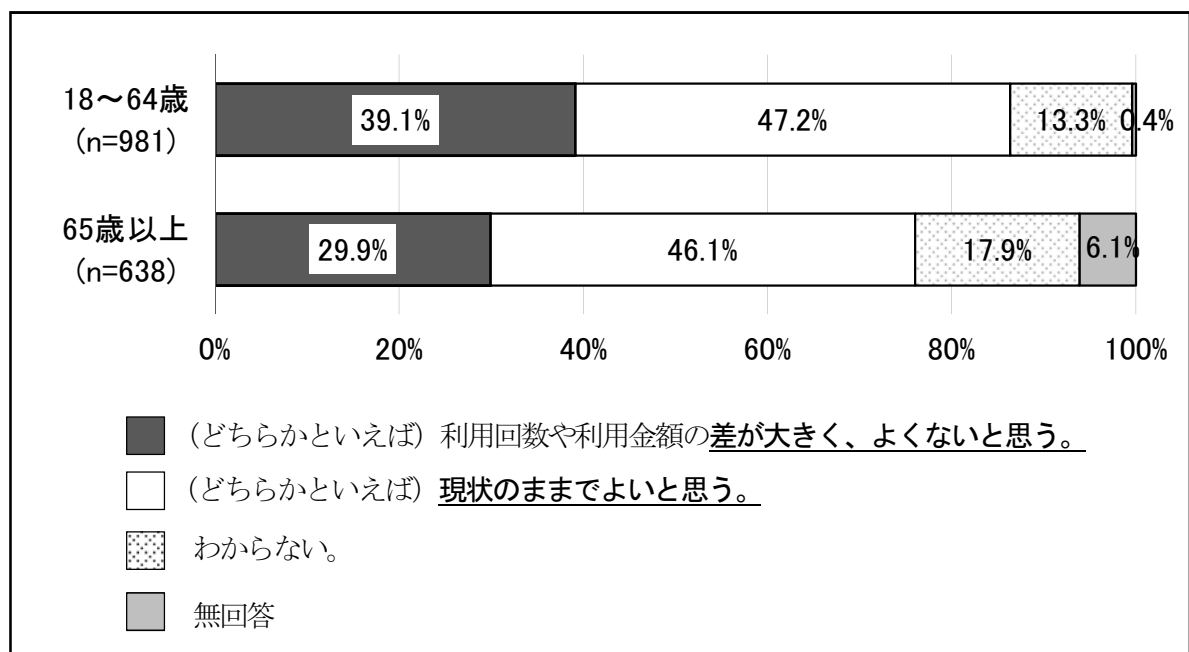
一方で、「差が大きく、よくないと思う。」と回答した人は3割を超えている。



イ 年齢区分別

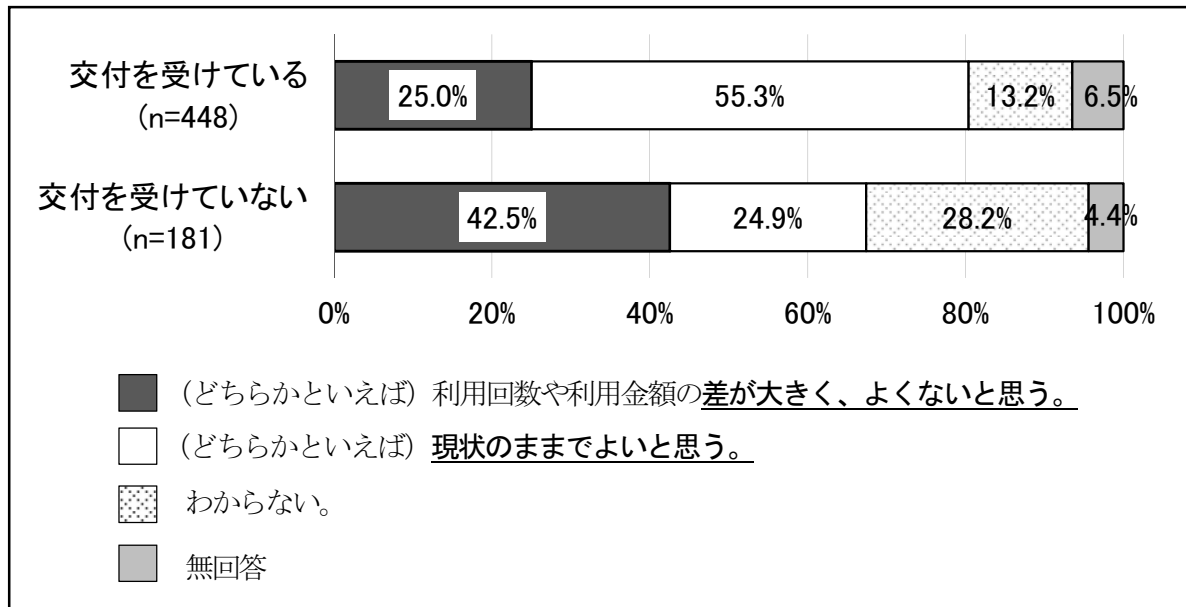
「現状のままでよいと思う。」と回答した人は、各年齢層で約5割である。

一方で、「差が大きく、よくないと思う。」と回答した人は、18～64歳では約4割である。



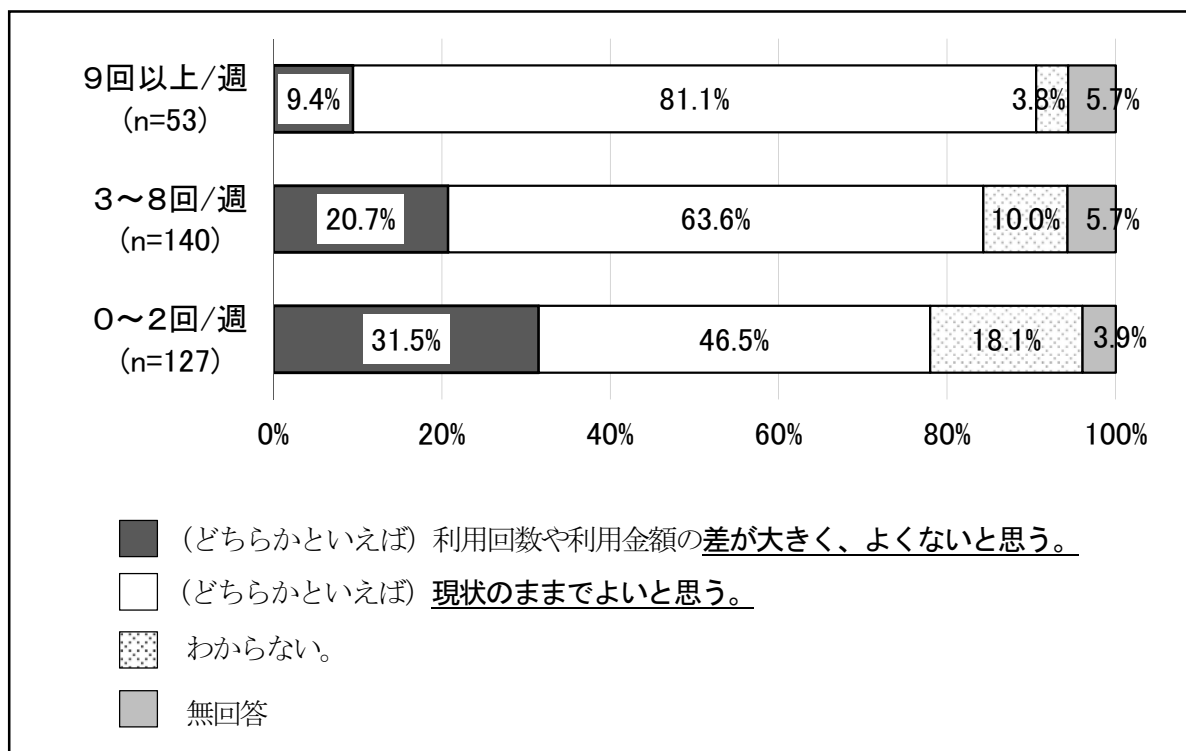
ウ 交付状況別（65歳以上）

交付を受けていない人では、「差が大きく、よくないと思う。」と回答した人が4割を超え、「現状のままでよいと思う。」と回答した人を上回っている。



エ 敬老パス利用回数別（敬老パス交付者）

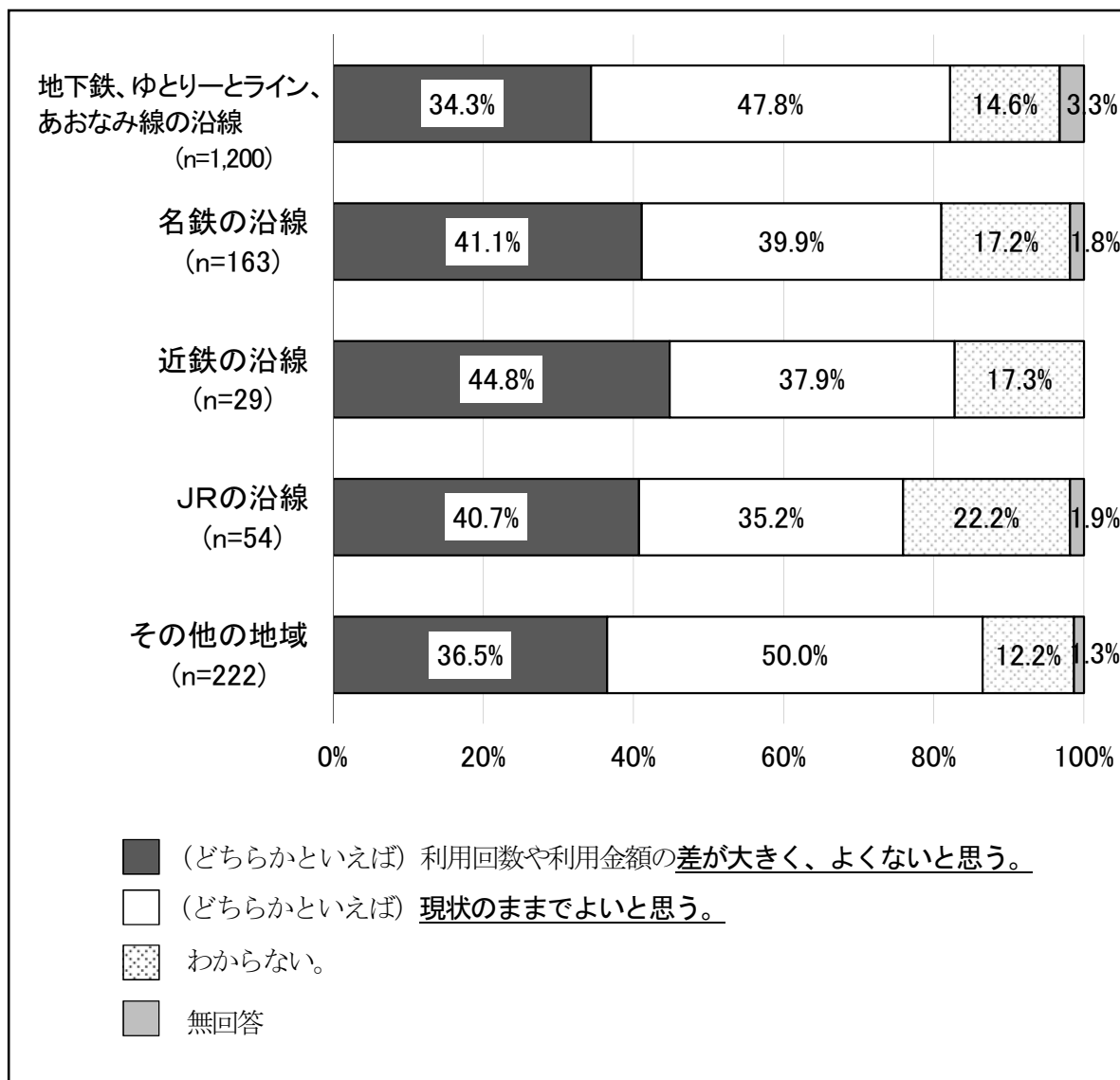
「差が大きく、よくないと思う。」と回答した人は、利用回数が少ない人ほど多く、0～2回/週では3割を超えている。



オ 居住地域別

「地下鉄、ゆとりーとライン、あおなみ線の沿線」及び「その他の地域」では、「現状のままでよいと思う。」と回答した人が約5割であり、「差が大きく、よくないと思う。」と回答した人を上回っている。

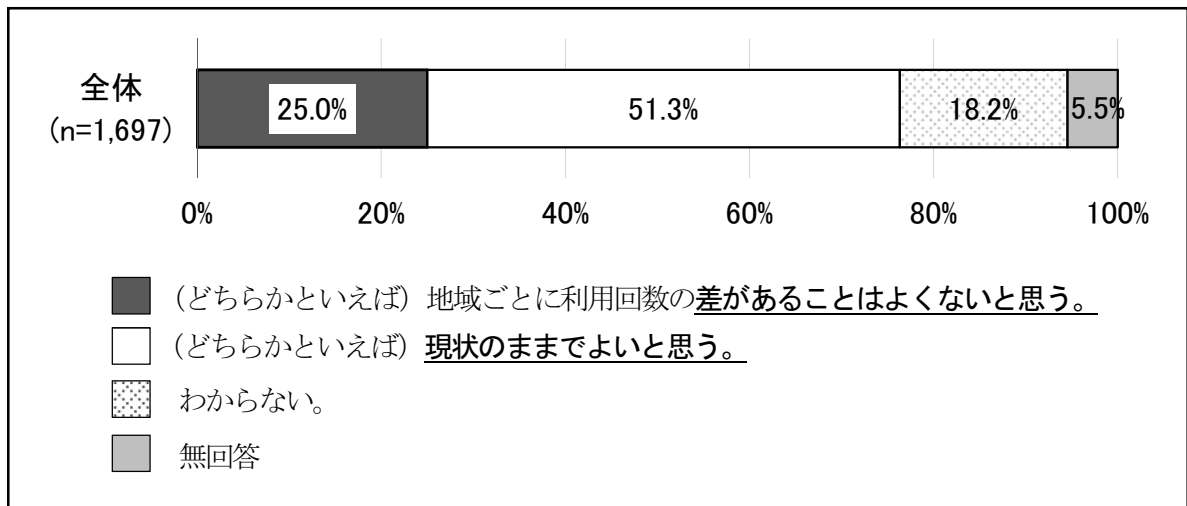
一方で、名鉄、近鉄、J Rの各沿線では、「差が大きく、よくないと思う。」と回答した人が4割を超え、「現状のままでよいと思う。」と回答した人を上回っている。



(2) 居住地域ごとに、一人当たりの市バスと地下鉄の利用回数に差があることについてどう思うか。

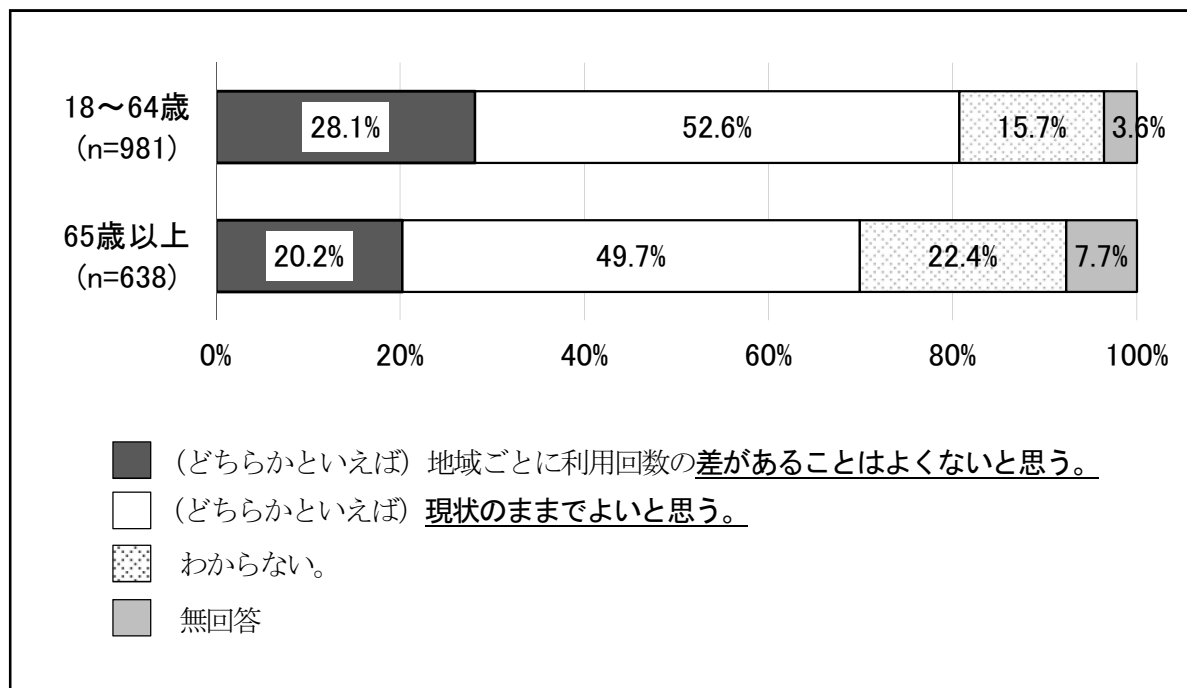
ア 全体

「現状のままでよいと思う。」と回答した人は約5割である。
一方で、「差があることはよくないと思う。」と回答した人は2割を超えている。



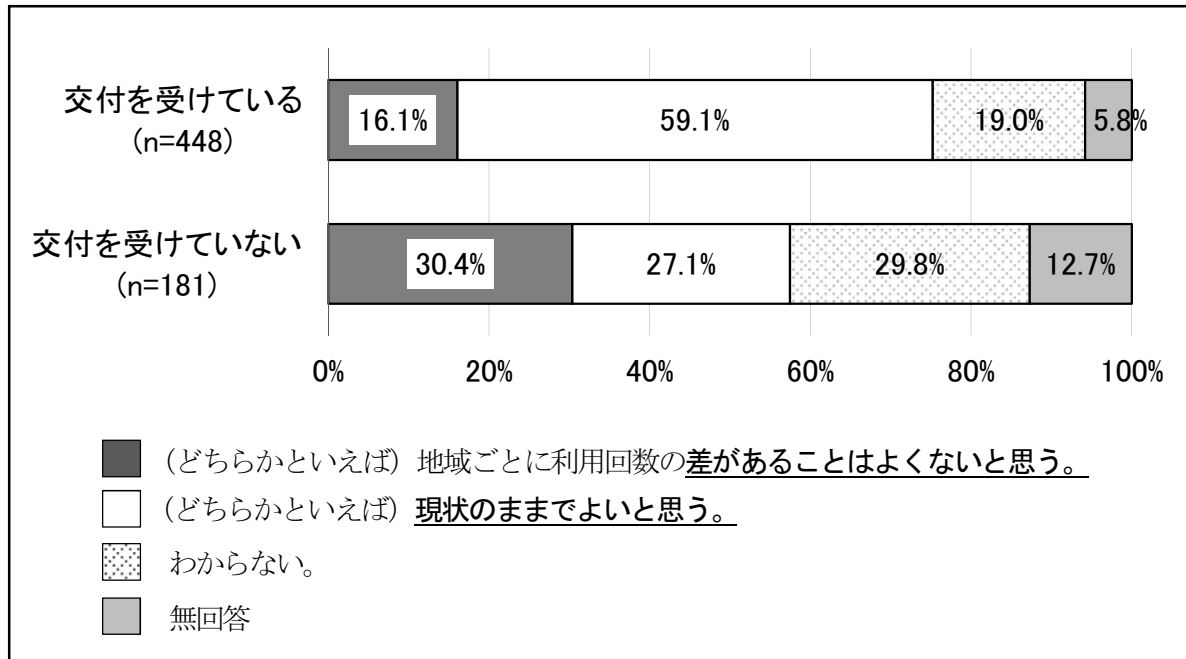
イ 年齢区分別

「現状のままでよいと思う。」と回答した人は、各年齢層で約5割である。
一方で、「差があることはよくないと思う。」と回答した人は、18～64歳では約3割である。



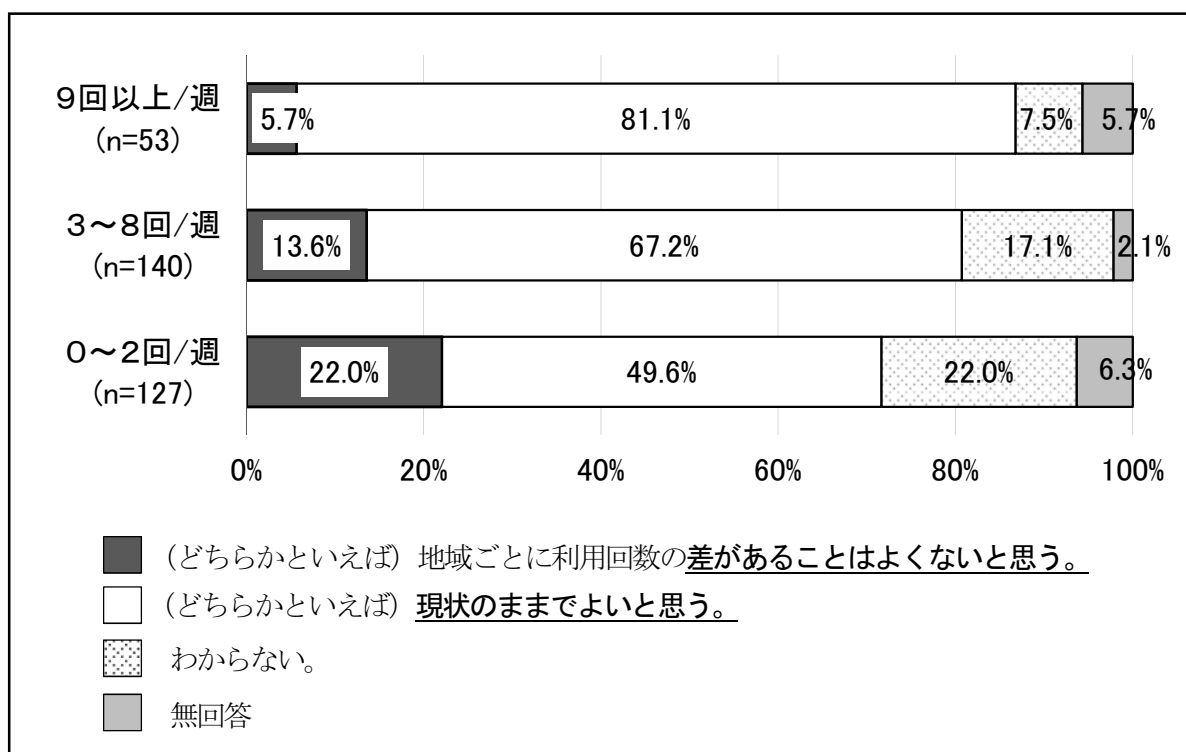
ウ 交付状況別（65歳以上）

交付を受けていない人では、「差があることはよくないと思う。」と回答した人が3割を超え、「現状のままでよいと思う。」と回答した人を上回っている。



エ 敬老パス利用回数別（敬老パス交付者）

「差があることはよくないと思う。」と回答した人は、利用回数が少ない人ほど多く、0～2回/週では2割を超えている。

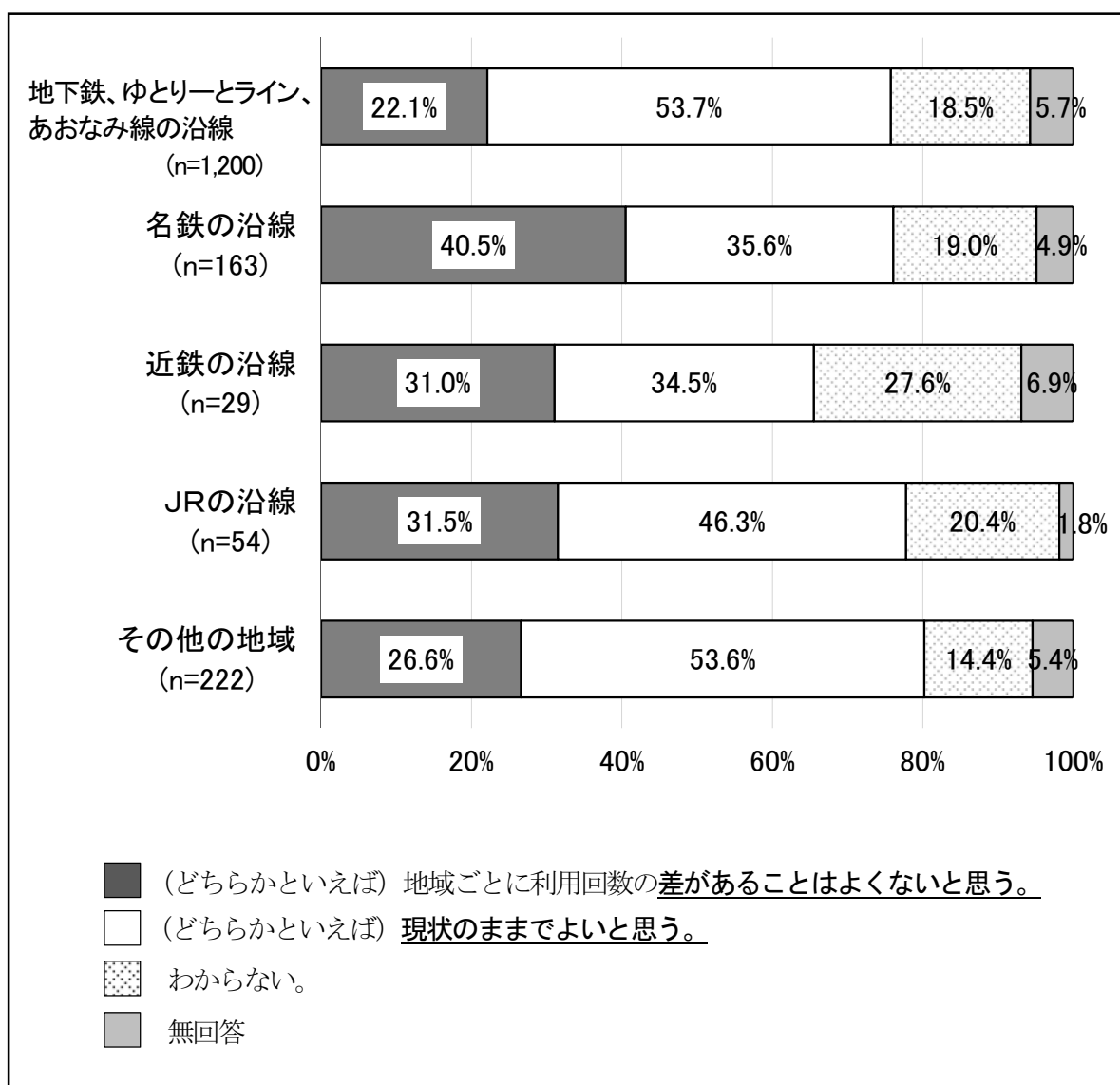


オ 居住地域別

「地下鉄、ゆとりーとライン、あおなみ線の沿線」及び「その他の地域」では、「現状のままでよいと思う。」と回答した人が5割を超え、「差があることはよくないと思う。」と回答した人を上回っている。

一方で、名鉄の沿線では、「差があることはよくないと思う。」と回答した人が4割を超え、「現状のままでよいと思う。」と回答した人を上回っている。

また、近鉄及びJRの沿線では、「差があることはよくないと思う。」と回答した人は、「現状のままでよいと思う。」と回答した人を下回ってはいるが、3割を超えている。



(3) まとめ

ア 個人ごとの利用回数や利用金額に差があることについて

(全体)

- ・「現状のままでよいと思う。」と回答した人は約5割である。
- 一方で、「差が大きく、よくないと思う。」と回答した人は3割を超えている。

(年齢区分別)

- ・「現状のままでよいと思う。」と回答した人は、各年齢層で約5割である。
- 一方で、「差が大きく、よくないと思う。」と回答した人は、18～64歳では約4割である。

(交付状況別)

- ・交付を受けていない人では、「差が大きく、よくないと思う。」と回答した人が4割を超え、「現状のままでよいと思う。」と回答した人を上回っている。

(敬老パス利用回数別（敬老パス交付者）)

- ・「差が大きく、よくないと思う。」と回答した人は、利用回数が少ない人ほど多く、0～2回/週では3割を超えている。

(居住地域別)

- ・「地下鉄、ゆとりーとライン、あおなみ線の沿線」及び「その他の地域」では、「現状のままでよいと思う。」と回答した人が約5割であり、「差が大きく、よくないと思う。」と回答した人を上回っている。
- ・一方で、名鉄、近鉄、JRの各沿線では、「差が大きく、よくないと思う。」と回答した人が4割を超え、「現状のままでよいと思う。」と回答した人を上回っている。

イ 居住地域ごとに、一人当たりの市バスと地下鉄の利用回数に差があることについて

(全体)

- ・「現状のままでよいと思う。」と回答した人は約5割である。
- 一方で、「差があることはよくないと思う。」と回答した人は2割を超えている。

(年齢区分別)

- ・「現状のままでよいと思う。」と回答した人は、各年齢層で約5割である。
- 一方で、「差があることはよくないと思う。」と回答した人は、18～64歳では約3割である。

(交付状況別)

- ・交付を受けていない人では、「差があることはよくないと思う。」と回答した人が3割を超え、「現状のままでよいと思う。」と回答した人を上回っている。

(敬老パス利用回数別 (敬老パス交付者))

- ・「差があることはよくないと思う。」と回答した人は、利用回数が少ない人ほど多く、0～2回/週では2割を超えている。

(居住地域別)

- ・「地下鉄、ゆとりーとライン、あおなみ線の沿線」及び「その他の地域」では、「現状のままでよいと思う。」と回答した人が5割を超え、「差があることはよくないと思う。」と回答した人を上回っている。
- ・一方で、名鉄の沿線では、「差があることはよくないと思う。」と回答した人が4割を超え、「現状のままでよいと思う。」と回答した人を上回っている。
- ・また、近鉄及びJRの沿線では、「差があることはよくないと思う。」と回答した人は、「現状のままでよいと思う。」と回答した人を下回ってはいるが、3割を超えている。

(4) 主な意見

区 分		内 容
制度に対する 改善要望等 585人	利用に応じた負担や 利用制限 (194人)	・利用に上限を設けるべき ・利用回数に応じた負担の導入を検討すべき
	一部負担金の見直し (116人)	・一部負担金を増額すべき ・一部負担金を値下げ又は一律にしてほしい
	不正利用への対応 (55人)	・不正利用があればなくすべき
	対象交通の拡大 (46人)	・市バス、地下鉄の利用地域差をなくするため、名鉄、近鉄、JRへの拡大を望む ・民間鉄道も使用できるようになるとうれしい
	交付年齢の見直し (35人)	・対象年齢を引き上げるべき
	所得制限 (12人)	・所得に応じて交付制限をすべき
	その他の改善要望等 (202人)	・事業費が多すぎる ・個人ごとの利用状況の差が大きすぎる ・地域ごとの利用状況の差が大きすぎる ・地下鉄や市バスの利便性をよくしてほしい ・通勤利用に使うのはおかしい
制度の継続を希望 132人		・現状のままでよい ・よい制度なので継続してほしい
その他 195人		・便利でたすかっている ・ありがたいと思っている ・将来は利用したい ・車を運転するよりは安全でいい

注：「制度に対する改善要望等」の内訳には項目間の重複計上がある。